

2023年度メリー★ポピンズ 志木駅前ルーム事業報告書 (保育所における自己評価)

1. 2023年度の概要 ～年度の基本方針を受けて～

法人の保育方針に基づき、保育園、地域、保護者が相互にかかわりながら協同し、地域に愛される保育園を目指し、商店街ツアー、子育て支援、地域交流を計画的に実施。園を知っていただくための取り組みを行った。

どろんこ会の基本保育や保育園を取り巻く環境を活かした体験活動を通し、「どろんこ会が育てる6つの力」～兄弟姉妹が生活・遊び・労働を教えあう～力を意識し、保育を行った。自分でできることは自ら進んでしようとする力や互いを思いやり助け合う姿があり大きなお家、家族として毎日を過ごしている。

基本活動である異年齢保育・座禅・雑巾がけ・さくらさくらんぼリズム体操・散歩9時出発・生き物の世話・畑仕事・裸足保育・縁側給食・商店街ツアー・銭湯でお風呂の日・青空保育を丁寧に行い、様々な力の育ちにつなげた。(続・原点回帰)

ちきんえっくや園見学を通し、保育園が地域の資源として活用して頂く発信を行った。子育て相談や居場所づくりとして、親子が安心して過ごせる場所になった。引き続き、保護者が子育ての喜びを感じられる子育て支援の出来る保育園を目指します。

〈1〉保育内容の充実・質の向上

1	計画・ねらい	生活や遊びを通し「生きる力の基礎」を学び「小学校までに育てほしい10の姿」を育てていく
	実践結果	毎日の日課や生活、遊びの中で積み重ねていく学びがあり、日常の生活週間、身体的発達や成長を感じる姿がある。職員は生活や遊びを通し様々な経験や気付き、学びとして関わる環境を用意し、特別なことを用意するのではなく、保育所保育指針に留意し、遊びが学びの原点となる計画を用意した。商店街ツアー、近隣園との交流を深め、他者との関わりを意識した行動が取れるようになっている。
	次年度方向性	遊びを原点とし、子どもの主体性が育まれる中で生活力を身に付けていく。
2	計画・ねらい	大人も子どもも一緒に生活をする一員として協力しあえる仲間になる。
	実践結果	早く生まれた大人が手本を見せ、生活の中で必要なことは、やってあげるのではなく一緒に行くことで子ども家族の一人として出来ることが増えてきた。自分で出来ることは自分でする。生活の一部として基本活動を行ってきた。
	次年度方向性	家族の一員として自分の役割を知り、生活の中で出来ることを行っていく。
3	計画・ねらい	主体的に学び、行動する大人のにんげん力を子どもにも伝える

実践結果	戸外活動の中で様々な遊びを提案しこどもの成長、発達につなげる。(遊びの原点に戻り、昔遊びや伝承遊び、泥に触れる機会を活動に取り入れていく) 子どもに体験させたい計画を保育の中で主体的に提案、実行していく。生活や遊びの中で子どもの成長、発達を捉え、つながる保育として語れる力を意識して取り組んだ。
次年度方向性	子どもの発達を見守り、大人都合ではなく子どもの発達に即した環境を用意し、主体的に考え行動出来る人的環境となる。

〈2〉 保育所を利用する子どもの保護者への支援

1	計画・ねらい	全職員が保護者の気持ちに寄り添い誠実さ、謙虚さを基に全力で役割を果たす。
	実践結果	保護者の知りたい情報を丁寧に伝えるお迎え対応。自分の子どもを安心して保育園に任せられるよう危機管理を徹底した。 職員としても子どもの成長は嬉しく、子育てを一緒にさせて頂いている感謝の気持ちを、様々な機会でこどもの成長を伝えた。
	次年度方向性	安心、安全、信頼をされる職員集団であり、子育ては楽しいと思える園作りを目指します。
2	計画・ねらい	専門性を活かした子育て支援・保育参加による共育での確認と子育て相談
	実践結果	不安や悩みなど気軽に相談できる保護者との信頼関係を深め、保育参加、ちきんえっぐ、個人面談など気軽に参加できる機会を作った。お迎え対応など保護者とコミュニケーションの取れる場として大切にしてきた。
	次年度方向性	気軽にコミュニケーションの取れる環境や時間を作っていきたい。
3	計画・ねらい	子育てサロンの開催によるおしゃべりタイム
	実践結果	地域の親子も交えた子育てサロンで子育て親子の輪を広げ共育ちを共有出来る居場所作りにつなげた。
	次年度方向性	ちきんえっぐや青空保育の参加者を増やし子育ての輪を広げていきたい。

〈3〉 地域の子育て支援事業

1	計画・ねらい	青空保育 (月1回、紙芝居・絵本読み聞かせ等) の充実
	実践結果	直路交通公園にて地域を巻き込んで出前保育の実践。保育のアイデアを伝え、子育てのヒントを得る場となっている。
	次年度方向性	青空保育の充実により、園を知っていただく機会を増やしていく。

2	計画・ねらい	ちきんえっぐ、寺親屋（年4回）、自然食堂（月2回）、自然学校もしくは芸術学校（月1回）、子育てサロン（年3回）を定期的に開催する。
	実践結果	地域の方も保育園を利用しやすい環境を作り、保育園生活を知ることによって子どもの育ちを共有する。ちきんえっぐの取り組み（簡単クッキングや伝承遊び）を通し共育てを実践する。 子育て相談・離乳食相談実施。
	次年度方向性	園開放を広め、保育園が地域の資源として活かされる園作り。
3	計画・ねらい	保育園が地域の資源として最大限のサービスを提供する。
	実践結果	園開放による保育園と地域の共育て。園だより、ちきんえっぐだより、食育、保健だより、献立表などによる子育て情報の提供。子育て相談随時。
	次年度方向性	専門性を活かした子育て相談や子育て家庭が求める情報発信の場となる。

〈4〉次世代を担うスタッフ育成

1	計画・ねらい	生活の中での学びを深める。（環境や遊びの中での子どもの学び）
	実践結果	生活と遊びの中で子どもの成長、発達に気づける学びを深める。基本活動の原点は生活と遊び。生活と遊びの視野を広げ、様々な遊びの展開と昔遊びからの繋がりのある保育を実践し、どろんこ会の目指す生きる力の基礎を育む。
	次年度方向性	子ども姿を振り返り、必要と思われる遊びや生活の経験を計画的に取り入れ発達を促していく。
2	計画・ねらい	発達に則した保育計画の立案
	実践結果	一人ひとりの発達を毎月の園会議で一人ひとりの発達と目指す姿を共有し、保育計画を作成する。
	次年度方向性	担当や子どもの年齢にとらわれることなく育ちを共有し、全スタッフで子どもの育ちを保障していく。
3	計画・ねらい	チーム保育の質を高めるリーダー育成・1年後の姿を目標においた目標設定を立て具体的な取り組み計画を作成する。
	実践結果	目標設定と振り返りを行い、より実現に近づく取り組みと助言を行った。配慮が必要と思われる子どもでも全職員が共有することでチーム保育が活かされたインクルーシブ保育が行われた。
	次年度方向性	引き続き、チーム保育を実践し、「大きなお家」で育ち合う園づくりを行っていく。

〈5〉環境実施目標

1	計画・ねらい	物を大切にする。
	実践結果	教材などを無駄なく使える工夫から子どもたちにも「もったいない」を伝えていった。
	次年度方向性	自由な表現活動を重視しながらも物の扱い方や節約する大切さを伝えていきたい。
2	計画・ねらい	リサイクル活動
	実践結果	園内においてもゴミの分別を子どもと一緒にやる。ペットボトルキャップ集めによるワクチンの提供などの意識が高まり人のためになるリサイクル活動や落ち葉が水や堆肥、トイレトペーパーにリサイクルされることを伝えていった。コンポストによる堆肥づくりによる残菜の活用が定着した。
	次年度方向性	引き続きリサイクルの仕組みを伝え、自分たちに出来る環境維持を行って行く。コンポストで作った堆肥を活用し畑仕事に活かしていく。
3	計画・ねらい	土、水、火に触れる体験を進んで行う。
	実践結果	他園交流を活かし、マンション型の園を理由にせず、必要な水、土、火に触れることを実践する。
	次年度方向性	土、水、火に触れる体験を通し、生活に必要なものでありながらも危険であることを知り、関わり方を体で知る体験となった。また五感を働かせながら子どもが感じ取る体験となった。

〈6〉遊びの原点に気づく

1	計画・ねらい	どろんこ遊びを通し、五感を働かせ感受性や社会性を豊かにする。
	実践結果	近隣系列園の環境を活かし志木どろんこ保育園、三原どろんこ保育園での移動保育を実施。乳児でも土、水、動物に触れる機会を作った。
	次年度方向性	引き続き系列園との連携を図る。
2	計画・ねらい	生活と遊びを通し、幼児期の終わりまでに育てほしい10の姿につなげる。
	実践結果	子どもの興味・関心を見守り様々な遊びを展開し、子ども自身が試行錯誤する環境を用意した。子どもの遊びを見守り、子どもが自ら気づき、遊びを展開していく姿がある。
	次年度方向性	引き続き遊びと生活が学びにつながる物的、人的環境を意識し用意していく。
3	計画・ねらい	昔話、昔遊び、伝承遊びを伝えていく。

実践結果	日本に伝わる遊びやお話を交え、心情や身体的発達につなげた。様々な鬼遊び、わらべうたなど玩具や遊具がなくとも自ら遊び込める姿が見られる。
次年度方向性	日本の文化を伝えていくことで日本の美しさマナーを後世に伝えて行く。

〈7〉生活の中での学び

1	計画・ねらい	基本活動の質を更に高め、大きなお家の一員として共に生活をしていく。
	実践結果	子どもにも大人にも基本活動が日課となり、生活の中で必要なことは自分で出来るよう「大きなお家」の中での役割と仕事を伝えてきた。朝の給食した準備など乳幼児ともに役割として定着している。また、清掃活動など役割として行っている。
	次年度方向性	家族の一員として自分でできること、役に立つことを進んで行っていく。
2	計画・ねらい	お互いを助け合ったり、ぶつかり合ったりを繰り返し思いやりや憧れをもって成長していく。
	実践結果	異年齢で生活し一人ひとりの出来ることを認め自信が持てるように配慮した。生活や遊びの中で助け合いや思いやり、出来ることに気づき協調し荒あえる姿がある。
	次年度方向性	大人の考えや思いを伝えるのではなく自身で考え、行動できるよう見守りながら必要に応じた大人の関わりを行っていく。
3	計画・ねらい	地域の中に出向き、多様な人々、多様な仕事と役割を知り社会の中での自分に気づく。
	実践結果	商店街ツアーは様々な仕事、人、役割などを知る機会として地域の方々との交流を深めた。高齢者施設との交流により身近な存在となり、手助けが必要な方々に対して気遣う姿が見られた。
	次年度方向性	引き続き、地域の方々との連携を図ることで地域で育ち合う環境を作っていきたい。

2. 施設運営

〈1〉児童利用状況

月極利用児童受託状況（延べ人数）

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
年度前半： 4~9月	18人	36人	36人	36人	30人	36人	186人

年度後半： 10~3月	18人	36人	36人	36人	30人	36人	186人
----------------	-----	-----	-----	-----	-----	-----	------

延長保育利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用総 人数	66人	60人	89人	104 人	109 人	114 人	110 人	121 人	125 人	125 人	110 人	110 人	1242 人
うち0 歳児	0人	0人	0人	1人	0人	0人	1人	2人	0人	0人	0人	0人	4人

(解説) 0歳児月極契約なし

一時保育利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用総 人数	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
うち0 歳児	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人

(解説) 4歳児のみ1名の利用登録あり、利用者なし。

〈2〉開所時間

7時00分～20時00分

〈3〉スタッフ構成 (3月1日時点)

常勤 スタッフ	保育士	7人	調理員	1人			
パート スタッフ	保育士	3人	嘱託医	2024 人	事務	1人	

3. 運営報告

〈1〉施設内会議

会議名	実施回数	会議内容
園会議	月1回 ※2,3月は策 定会議にて 実施	・コンピテンシー ・保育の質向上に関わる勉強会 ・園運営について
給食運営会議	月1回	喫食状況・食育活動・個別対応について
事故防止委員会	月1回	ヒヤリハット・インシデント・他園の事故記録の検討
ケース会議	月1回	要支援児についての共有・検討
週会議	適宜	保育運営、子どもの姿の共有等

〈2〉出席した施設外会議（Web 参加含む）

会議名	実施回数	参加スタッフ
施設長会議 ／法人本部	月1回	施設長
施設長勉強会 ／法人本部	月1回	施設長
食育会議 ／法人本部	年4回 (5.7.11.2月/5.8.11.2月)	施設長 調理スタッフ
保健会議 ／法人本部	年4回 (5.7.11.2月/5.8.11.2月)	施設長
主任会議 ／法人本部	年12回	主任・ミドルリーダー
子育ての質を上げる会議	月1回	保育士

〈3〉系の設置状況

系名	活動の様子・省察
衛生管理係	園内の衛生管理や備品の管理・清掃確認・感染症発生時の対応・検便の回収を行った。清掃確認においては職員の協力を得ながら全職

	員で取り組んだ。
安全対策係	避難訓練の実施や安全な環境整備・事故防止点検・設備点検・事故防止委員会の開催を計画に沿って実施した。
防火管理者	消防計画の作成・避難訓練計画の立案・設備の防火管理を実施した。
食品衛生管理係	食品の衛生管理・調理室の衛生管理・給食会議の開催・衛生点検を実施した。
畑、生き物係	畑の管理・作物の植え付け、収穫の確認・飼育全般の管理を実施した。
写真係	個人情報の確認・写真販売・卒園アルバム写真整理を実施した。

〈4〉行事係の設置状況

係名	活動の様子・省察
どろんこ祭り係	地域、保護者との連携と計画、開催。初めてのどろんこ祭りの開催であったが広報により、地域の方の参加も多かった。
地域担当	青空保育・地域との連絡係（商店街ツアー・老人施設）役割を細分化し全職員で計画、実行をした。

4. 保育支援

〈1〉保育・保育参加・保護者面談および発達相談・園児の保護者への支援および意見要望への対応

保育	<ul style="list-style-type: none"> ・移動保育を利用し、どろんこや生き物の世話に参加した。汚れることもあるが、どろんこ遊びの必要性を伝えた。 ・生活リズムの改善に向けたヒントを伝え、保護者の悩みを共に考えた。 ・生活発表会に於いて、異年齢での関わりを成長として伝えた。 ・毎日の日課に参加できるように登園時間の協力をお願いした。 ・タイムラインの掲載を増やし園生活の様子をより広く伝えたことで写真購入の機会も増えた。
保育参加	<p>4～3月まで 合計12名 が参加済み （3月1日時点）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育参加週間を設け参加者が増えた。
保護者面談および発達相談	<p>4～3月まで 合計16名 が参加済み （3月1日時点）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5歳児は保護者面談を実施し子どもの成長を共有し、園の様子を伝える機会担っ

	<p>た。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育参加後の保護者との園の様子を共有する機会となった。
運営委員会	<p>運営委員会を6月22日、11月16日メリー・ポピンズ志木駅前ルームにて実施し、参加した保護者5名 詳細は議事録に記載</p>

〈2〉計画した年間行事の振り返り

- ・別紙「2023年度年間スケジュール」に掲載
- ・保育参加・保護者面談は随時開催

〈3〉給食・食育に関する実践結果

1	計画・ねらい	乳児も幼児も自分で選び自ら美味しく食べる。
	実践結果	自ら選び、食べたいと思えることを大事にし、出来ることは自分し、できないことは手伝ってあげるなど大きなお家を活かしていく。乳児においても自分で選ぶ環境を作る。乳児においてもバイキング給食の実施に至っている。
	次年度方向性	落ち着いて食事ができる環境を作っていくことで、無理なく食事を楽しめる人的環境を大切にしていく。
2	計画・ねらい	伝統食、郷土料理、加工食品の年間計画に盛り込み実行する。
	実践結果	いもこ汁、味噌づくり、手打ちうどん、干し柿、たくあん作り、梅干し、梅ジュースなど引き継がれていく食育活動を実施しながら地域にも興味を持てる取り組みができた。
	次年度方向性	加工食品や食材の残菜を少なくする工夫と提案を行うことで、食の循環、食べることお大切さ、命をいただく感謝の気持を育てていく。
3	計画・ねらい	命をいただく体験や畑仕事を日課とし労働の大切さを感じる。食べ物を無駄にせず、すべての人への感謝の気持を持つ。
	実践結果	三食ボードを利用し、栄養と体の仕組みを知る機会となった。労働と言う意識を持ち、自分たちで育てた食材や給食食材を無駄にすることなく使い切る。使い切れないものは保存食や調理の工夫。コンポスト作り。移動保育による堆肥づくりで食の循環に関わることができた。
	次年度方向性	給食残渣を少なくする取り組みを行う。また、残渣のリサイクルを子どもとともに考えていく。

〈4〉保健に関する実施結果

実施項目	詳細
園児健康診断	6月22日／11月16日に実施
歯科検診	6月15日に保育園にて実施
保健だより	毎月1日におたより配信を実施
スタッフ健康診断	年1回実施
スタッフ検便	毎月1回（全スタッフ対象）
その他実施した園児への保健指導、又は、取組等	① 毎月、保育園にて保健計画に於ける園児への保健指導を実施 ③ 12月11、12日に保育園にて5才児対象「性教育」を実施
流行した感染症	① アデノウイルス9月に、園児5名感染報告あり、志木市保育課へ報告 ② 10月下旬にインフルエンザA、園児10名感染報告有り。月末に終息。志木市保育課に報告。
発作・痙攣等の対応	該当なし
エピペン使用できるスタッフの状況	・3月23日に保育園にてエピペン研修を実施。スタッフ名10名が習得済み ・本日時点で、在籍スタッフ12名のうち、10名が使用可能
AED 使用できるスタッフの状況（AED 設置施設のみ）	・AED 未設置
その他保健に関する取組	志木どろんこ保育園にて小児の救急救命講習受講 感染予防に関する園内研修（嘔吐処理、おむつ交換手順、手洗いの確認） ウイルス感染予防のため、うがい指導・手洗い指導を行う。また消毒・換気を徹底した。

〈5〉各種点検

危機管理	設備点検・事故防止チェック	4・7・10・1月の25日に計4回実施済み
	防災自主点検 （備蓄品点検含む）	6・12月の25日に実施済み
	避難消火訓練	毎月1回／15日に計12回実施済み

	不審者侵入訓練	6・12月の25日に実施済み
	情報セキュリティチェック	5月・11月に実施済み
	誤飲・誤嚥防止チェック	4・7・10・1月の25日に計4回実施済み
衛生管理	衛生管理点検表／毎日	毎日実施⇒実施していない日 0日
	衛生管理点検表／毎週	毎週金曜日実施⇒実施していない日 0日
	衛生管理点検表／毎月	毎月25日に計12回実施済み
	個人衛生点検簿／毎日	毎日実施⇒実施していない日 保育のない土日祝日
健康管理	予防接種状況・既往歴の確認 ／保険証期限確認	年2回／4・10月 ⇒4月1日、10月1日に実施済み
	身長体重測定	毎月1回／20日 実施済み
	児童健康診断	内科健診 各年2回／6月22日、11月16日 歯科健診 各年1回／6月15日、
運営管理	児童・保護者の人権に関する チェック	年2回／4・10月の園会議時 ⇒4月21日、10月20日に実施済み
	コンピテンシー自己採点	毎月1回／園会議冒頭5分間 実施済み
	利用者アンケート調査	8月25日～9月5日に実施済み

〈6〉実施した環境整備の状況

- 環境にかかわりながら自分で考え、主体的に活動できる環境を作る。
- 幼児も乳児も戸外活動を十分に行う。
- 衛生的な生活環境を作る。

1	計画・ねらい	年齢にあった室内環境が用意される
	実践結果	子どもの成長と共に保育環境に見直しを行った。目的にあったコーナーが用意され、異年齢で好きな場所で遊び込める環境が用意され、子どもが片付け易い仕組みを整えた。
	次年度方向性	居心地の良い保育環境を用意し適宜、見直しを行う。
2	計画・ねらい	美観を保ち衛生的な環境、人的環境に留意する
	実践結果	スタッフが美観を保つ仕組みづくりを行った。 子どもの心情や態度を見守り、子どもがやりたい事、伝えたいことが出せる人的環境に留意した。

		保育者の声の大きさ、言葉がけに十分配慮し、主体的に行動し、自ら聴く、話す力が育まれる。
	次年度方向性	大人が手本となり清潔で生活の場にふさわしい環境を保っていく。
3	計画・ねらい	移動保育や戸外活動を活かした保育。
	実践結果	火、水、土に触れる機会を作り、畑仕事、生き物の世話などを通し、自分の役割を自覚し関わる姿が見られる
	次年度方向性	連携園の環境を利用し園庭がない園でも園庭のある園の子どもたちと同様の体験活動を行う。

〈7〉手作り遊具・家具安全点検結果

※（施設長ナビゲーション）園にある木材・金属製の手作り遊具と家具すべてを記載すること
手作り遊具・家具一覧

No	遊具・家具名	設置場所	点検実施時期	点検結果
1	製作棚	幼児室	毎日	異常なし
2	円盤椅子	幼児室	毎日	異常なし
3	パーテーション			2023年3月31日解体撤去

5. 危機管理（防災・ケガ事故防止・防犯・光化学スモッグ）

マニュアル No.3に則り、各種危機管理に務める

1	実践結果	防災：避難消火訓練（火災・地震・水害・通報等、毎月） 広域避難訓練参加 防災用品の定期点検
4	実践結果	不審者対策：不審者侵入訓練（年2回） 施錠の確認と徹底 不審者情報の収集と周知、笛の携帯 送迎者登録（代理送迎者）の確認
5	実践結果	ケガ事故防止：環境整備、ハザードマップの作成、見直し。 事故防止委員会（ヒヤリハット、インシデント、事故報告書による検討会議） プール事故防止訓練（6月） 設備点検、事故防止点検 5分毎の生存確認
6	実践結果	光化学スモッグ：自治体からの光化学スモッグ発生の情報共有 光化学スモッグの知識を身につけ、警報、注意報発令による対応を実施。
7	実践結果	自然災害：災害発生時の避難訓練 広域災害時避難場所の確認

		河川の状況収集に務めた。
--	--	--------------

6. 実習生・中高生の受入

〈1〉今年度の振返り

養成校からの実習依頼を受け、保育現場の楽しさを学ぶ機会として指導した。小規模園ではあるが小規模ならではの細かな指導を心がけている。中学生の受け入れはできなかったが、次年度に向け申し入れていく。

〈2〉実習生の受入

日程	学校名	人数	実習内容
2月1日～15日	彰栄保育専門学校	1人	観察実習

〈3〉中高生の受入

日程	学校名	人数
7月21～8月20日	福祉学園ボランティア	3人

7. スタッフ研修

〈1〉園内研修の開催

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
コンピテンシー自己採点	19日 12名	24日 12名	21日 12名	19日 12名	23日 12名	20日 12名	18日 12名	22日 12名	20日 12名	18日 12名	22日 12名	24日 12名
子育ての質を上げる研修	20日 1名	25日 1名	22日 1名	20日 1名	24日 1名	21日 1名	19日 1名	24日 1名	21日 1名	19日 1名	22日 1名	1日 1名

〈2〉外部研修への出席

日程	主催	研修名	出席	施設長推薦
5月24日	志木市	幼保小連携研修	1名	有

1月15日	志木市保育課	子どもの主体性	1名	有
1月13日	志木どろんこ保育園	保育環境について	3名	無
2月6日	郡山どろんこ保育園	さくらさくらんぼリズム研修	8名	有

〈3〉法人支援制度の活用・出席

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
業務改善研修 (子育ての質を上げる会議)	20日 1名	25日 1名	15日 1名	20日 1名	24日 1名	21日 1名	19日 1名	16日 1名	20日 1名	16日 1名	21日 1名	21日 1名
施設長勉強会	20日 1名	25日 1名	15日 1名	20日 1名	24日 1名	21日 1名	19日 1名	16日 1名	20日 1名	16日 1名	21日 1名	21日 1名
全社員研修	10月に動画視聴にて研修を実施(全スタッフ対象)											
リーダー養成研修	該当なし											
デモンクイーターシップ	該当なし											

〈4〉スタッフ個人別育成計画

施設長が年1回実施するフィードバック面談時に「個人ごとの次期の目標設定と併せて、次期の育成計画を施設長が所定様式を使用して個々に伝えた。半期に一度、中間面談の実施を行い、進捗確認をした。

8. 地域交流

〈1〉今年度方針・テーマの振り返り

地域に開かれた保育園を目指すべく、高齢者、小学校、近隣の保育園との交流を行う。地域に愛され地域の資源として活用していただける仕組みや環境を整え、在宅子育て家庭への支援をテーマに各取り組みを実践した。園を利用する在宅子育て家庭が増え、育児相談も気軽に相談できる園として知られるようになった。小中学校や高齢者施設との地域交流はコロナ禍を過ぎ活動ができるようになった。

〈2〉実施した地域交流

活動行事	内容
青空保育（保育園主催）	月1回 公園名：直路交通公園にて
商店街ツアー	主な行き先：大坂屋、ヘアード、大村商事、駅前交番、市役所、小さなパン屋さん、高澤歯科、郷土資料館、美松屋、アリス文化パン、消防署市役所、サンクス三上等
世代間交流	毎月のシニア交流の実施。 9月、敬老の日にちなみ祖父母への手紙を送る。 8月、ボランティアの受け入れによる交流を実施。
異年齢交流	3月27日に宗岡学童にて交流会を実施。 小学生との交流において就学後の様子を知る。
その他活動	7月29日に保育園にてどろんこ祭りを実施
銭湯でお風呂の日	月1回 〈3～5歳児〉 実施

9. 小学校との子ども間交流・職員間交流

〈1〉今年度の振り返り

志木小学校に於いて1年生との校内見学、触れ合い交流を実施。志木第三小学校において昔遊びによる交流会を実施。また、畑仕事で志木小学校へは毎週出かけており、小学校の様子を知る機会は日常的に行ってきた。職員間交流は授業風景の参観、小学校教諭との意見交換、研究発表に参加し小学校教育の現状を知る機会となった。

〈2〉具体的な連携

日程	学校名・クラス名	参加人数	活動名（会場）	内容
5月24日	志木小学校	1名	志木小学校 授業参観	職員間交流
11月7日	志木小学校	7名	志木小学校	子ども間交流
3月8日	志木第三小学校 1年生	7名	志木第三小学校	子ども間交流
3月19日	志木小学校	1名	保育指導要録・口頭による引き継ぎ	職員間交流

3月22日	宗岡第四小学校	1名	保育指導要録・口頭による引き継ぎ	職員間交流
-------	---------	----	------------------	-------

10. 要支援児

〈1〉個別支援計画の作成・見直しの状況

個別支援計画前期、後期の長期的計画の作成と見直し。

毎月の個別支援計画の作成・見直し。

〈2〉毎月のケース会議開催の状況

- ・4～3月に計12回開催 参加者：8名
- ・毎月1日を会議開催日とし、職員間で子どもの様子の共有

〈3〉進級引継、および小学校への引継状況

- ・進級に於いての引き継ぎは子どもの姿の共有会議において実施。
- ・小学校への引き継ぎは口頭引き継ぎと保育指導要録の提出をした。

11. 子育て支援事業

※3月は見込みの数値を入れること

今年度の子育て支援事業・イベント・子育て相談・青空保育を含む延べ来園者数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2名	11名	24名	10名	123名	33名	39名	28名	19名	21名	6名	4名	320名

実施項目	詳細												
園開放	(月)～(土) 9:30～16:30 にて実施												
子育て相談	(月)～(土) 13:00～16:30 ⇒計113件相談実施済み												
自然食堂 親子ランチ 交流	毎週(水) 10:00～12:00 ⇒計24回実施済み												
	参加者延べ人数												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	0名	4名	8名	0名	0名	0名	2名	9名	11名	0名	3名	2名	39名
どろんこ 芸術学校	毎週(水) 10:00～12:00 ⇒計12回実施済み												
	参加者延べ人数												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計

どろんこ 自然学校	0名	0名	0名	4名	0名	0名	2名	2名	0名	0名	0名	0名	8名
勝手籠設置	(月)～(土) 7:00～20:00 にて実施 門扉前に無人のフリーマーケットかごを設置												
ちきんえっ ぐだより	毎月1日発行												
青空保育 (支援セン ター主催)	月1回 公園名：直路交通公園にて 以下日程にて実施												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	2名	2名	4名	5名	17名	15名	12名	2名	0名	4名	0名	2名	65名

12. 園運営の向上

〈1〉福祉サービス第三者評価の受審

今年度受審なし

〈2〉園による自己評価の実施

2024年2月1日に「内部監査チェック表」を用いて、以下の通り、自己評価を実施済み。

自己評価開始時刻： 9時00分

自己評価終了時刻：12時00分

自己評価実施者：古賀文子、菊池泰代、小西愛由美

〈3〉利用者アンケートの実施

施設利用 保護者に対し、アンケートを実施

アンケート配布日：8月25日

アンケート回収率：100%

概ね勧めたくなる園との回答を頂いている。門扉の修繕についてのご意見もあり対応済み。写真販売についてのご意見を受け園で出来る対応としてタイムラインの投稿を増やした。

実際に見学して希望園とした方が多いため、今後も日頃の衛生管理、職員の丁寧な接遇を心がけたい。

13. 苦情解決・ケガのうち報告すべき事項

ご意見ご提案デスク（HP・メール・電話）、口頭・書面・連絡帳・ご意見ご提案ボックスによって寄せられた全ての意見・要望・苦情について、原則、「苦情対応体制」に従い、法人として解決を図る。以下、報告すべきご意見・ケガに関しては次の通りとなる。

〈1〉 報告すべきご意見

「報告すべきご意見」0件

〈2〉 報告すべきケガ（事故含む）

「報告すべきケガ（事故含む）」 0件

※なお、報告書内の3月度の数値結果に関しては、すべて見込みの数値となっている。

以上

作成日：2024年3月15日 作成者：メリー・ポピンズ志木駅前ルーム 施設長 古賀文子